

## 平成22年度 決算報告

平成22年度は中期経営計画（平成21年度～平成26年度）の2年目として、また事業計画においては11項目の基本方針を掲げ、健全で活力のある経営を目指してきました。具体的には訪問介護事業所の全区展開、地域ケアプラザと老人ホームの通所介護に認知症対応型通所介護や小規模多機能型居宅介護事業の併設、また福祉用具貸与・特定福祉用具販売事業の開始など具体的な取り組みに着手、推進し、さらに本部事務所を移転することもできました。

平成22年度決算（資金収支計算書）の概要は以下のとおりです。

平成22年度収支一覧表

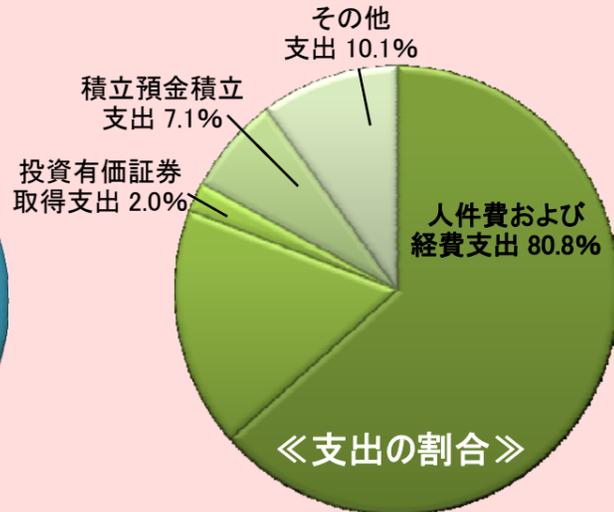
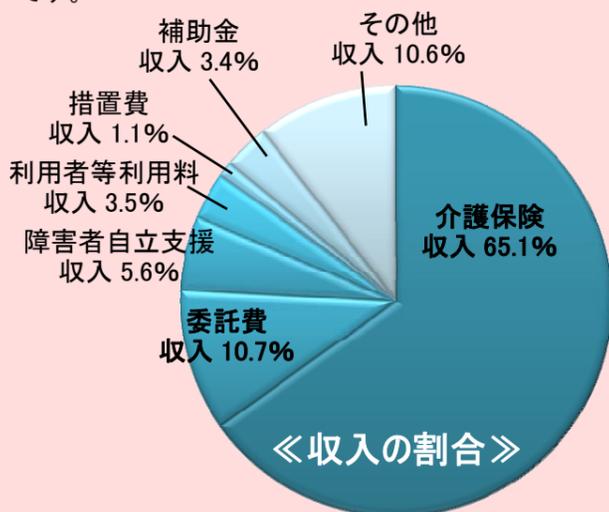
[単位：円]

	介護保険事業会計		
	収入	支出	収支差額
経常活動による収支	10,249,721,538	9,163,444,924	1,086,276,614
施設整備による収支	55,170,160	113,361,090	▲ 58,190,930
財務活動による収支	1,090,907,581	2,120,916,698	▲ 1,030,009,117
当期資金収支差額	11,395,799,279	11,397,722,712	▲ 1,923,433
前期末支払資金残高			1,568,019,608
当期末支払資金残高			1,566,096,175

「介護保険事業会計」には、地域介護事務所・地域ケアプラザ・老人ホームが行う事業のすべてを含みます。

	公益事業会計		
	収入	支出	収支差額
経常活動による収支	304,572,240	313,314,229	▲ 8,741,989
施設整備による収支	0	2,747,512	▲ 2,747,512
財務活動による収支	7,390,423	0	7,390,423
当期資金収支差額	311,962,663	316,061,741	▲ 4,099,078
前期末支払資金残高			▲ 397,146
当期末支払資金残高			▲ 4,496,224

「公益事業会計」の対象は高齢者用市営住宅等生活援助員派遣事業と、福祉用具貸与・特定福祉用具販売事業です。



## 知って楽になる介護の話 第8回 ～歩く～歩行介助編～

前回まで「正しく座り、立ち上がる」をお伝えしました。

さて、今回は「歩く」についてお話しします。

私たちは「歩く」とき、左右の足に体重を移しながら交互に足を前に出しています。前に進んだり、後ろに下がったりと、「歩く」ときは《前後》の動きですが、体重（重心）は《左右》の動きになります。

もちろん、人間の自然な動きなので、無意識のうちに体重を移動させ、バランスを取っているのです。

皆さん、一度、意識して歩いてみて実感してください。

〔自然な歩行〕



- ① 左右どちらかに体を傾け、傾けた方の足へ体重を移します。



- ② 体重がかかっていない方の足を前に振り出します。
- ③ この動きを左右で繰り返し、歩行しています。

〔歩行介助〕

足を前に出すには、体重移動が必要です。左右に体を動かしながら前に進むとスムーズに歩き出せます。

決して前に引っ張ったりせず、一緒に足踏みをしながら「一步」を出してみましょう。また、歩調や歩幅は歩く方に合わせるようにしましょう。

### 介護者のための相談電話

介護に疲れたとき…ほっとライン

介護に疲れて行き詰まったり、不安になったりしたとき、ひとりで悩まないで、ほっとひと息ついてみませんか？

電話：045(450)3194

